特別養護老人ホーム羽鳥の森

静岡市葵区にある特別養護老人ホーム羽鳥の森です。
今回は当園が行っているデイサービスの取組について
発表します。発表時間は12分です。
皆様、よろしくお願いします。

Hatori no Mori Day Servise Center

羽鳥の森デイサービスは365日元気に営業中！

羽鳥の森（静岡市）

発表者
デイサービス相談員　安池裕美子
ショートステイ相談員　佐藤裕介

静岡市の
特別養護老人ホーム
羽鳥の森です！

01
施設概要

- 羽鳥の森は平成23年に静岡市葵区に社会福祉法人珀寿会が開設した特別養護老人ホームです。
- まだ新しい施設ですが、羽鳥町内、藁科圏域など地域の皆様に見守られて成長を続けています。
- 本体はユニット型特別養護老人ホーム110床です。

02
実施サービス

羽鳥の森ではユニット型特別養護老人ホームの他に居宅サービスも併設しております。

- ショートステイ10床
- デイサービス
- 居宅介護支援事業所

各サービスが連携しながら地域の福祉課題に取り組んでいます。

03
デイサービスについて

- デイサービスは365日営業、土日祝日、年末年始も実施しております。
- 娯楽室、カラオケ室、リラクゼーションスペースを設けるなど様々なニーズにお応えします。
- 元気で明るい職員が多いです。

デイサービス365日営業をやってみた！

この研究発表は以下の流れに従って説明を行います。

01

羽鳥の森デイサービスの運営状況と職員体制

02

在宅高齢者の住まう環境で起こりうることと、デイサービスが365日営業を行う意義

03

その他のメリットと今後の課題について

01

羽鳥の森デイサービスの運営状況と職員体制

羽鳥の森デイについて

営業日・営業時間	365日毎日営業　10：00～16：00（6～7時間）
定員・利用者延数	定員30名、利用者延数は月間約800人
加算・平均介護度	加算は入浴介助加算のみ、平均介護度は1.9
設備	全自動麻雀卓、パチンコ、ウォーターベッド、カラオケ
送迎範囲	およそ片道30分の距離まで
特記事項	希望者に朝食の提供、夕食持ち帰りサービス

羽鳥の森デイの職員体制

	常勤職員	非常勤職員	常勤換算数
管理者	1（兼任）	0	0
生活相談員	2	0	2.0
介護職員	1		13.0
看護職員	0		1.5
運転手	0		2.5
管理栄養士	1（兼任）		1.0

定員30名であれば、介護職員4人が人員基準であるところ、
七営業日のシフトを回すために
基準の倍以上の職員を確保しています！

02

在宅高齢者の住まう環境で起こりうることと、デイサービスが365日営業を行う意義

在宅高齢者の住まう環境で起こりうること

RISK

- 本人、家族ともに高齢
- 人間関係の希薄化

本人が90代の場合、主介護者であるこども世代も70代であるなど本人、主介護者が後期高齢世代となっていることも珍しくない。また本人の世帯を取り巻く人間関係が希薄化しており、何かあっても頼るべき親戚縁者や近隣住民がいないことがある。不慮の自体が起こるリスクは高く、それに対応できる基盤は弱い。

いつなんどき

何が起こるか

分からない

不安

があります。

今までに対応した様々なケースの紹介

発表の内容についてはプライバシー保護のため、一部の記載内容に対して論旨に影響を生じない程度の変更を加えております

CASE01
主介護者である息子が急死

Aさん

95歳　要介護1
息子と二人暮らし。
娘が近隣に住んでいたが、本人の被害妄想が強く、「娘に財産を盗られる」と言って娘を住まいに近

はことごとく拒絶してきており、デイサービス以外のサービスは利用できない。

Accident

Aさんがデイサービスの利用を終えて帰宅すると、住居に警察が来ていた。
息子が通う透析クリニックが、息子と連絡が取れないことから、警察に巡回を依頼していた。警察が家に入ると息子が意識不明で倒れており、救急搬送されたとのこと。新型コロナウイルス感染が原因で、その後に息子は病院で死亡。

Problem

。
拒絶により
始めるが、
入できる施

様々な調整の結果、夜と朝だけ娘が訪問し、本人が拒絶しない範囲で最低限の支援を行う。
三食の食事はデイサービスで提供（デイの朝食サービスと夕食持ち帰りサービスを利用）。入浴、着替え、洗濯もデイサービスで行う。週七日、デイサービスを利用した。約一か月後にグループホームに入所。

「本人は介護拒否があるため、新しい事業所の利用が難しい。通いなれた事業所で、本人の三食の食事や入浴・洗濯・更衣まで整えてもらえて助かりました」とケアマネさんから喜んで貰えました。

CASE02
デイサービスでお看取り

Bさん

90歳　要介護5
要支援1の頃から当園デイサービスを利用。要介護５になる頃には週6~7日利用となっていた。
同居する長女夫婦が共働きで、主
ても歩行器を使用してデイサービスに通い続けていた。

身体が辛くても一日も休みたいと言わずにデイサービスに来て下さったご利用者様。ご利用者様とご家族様の希望を叶えることが出来て良かったです。

Accident

体調の悪い日が増えたが、
家にいても家人がおらず独居と変わらないため、
本人はデイサービスに来ることを希望。
かかりつけ医からも末期が近いことの説明あり。

Problem

在宅で最後を迎える意向が本人、家族とも強く施設入所等の選択肢はない。往診を受けながら、家での暮ら
ことができず、
ってしまう。

ービスを利用し
が休診となる土
を仰いだ。
返事する姿も見
られたが、昼前になると徐々に傾眠傾向、徐脈になってきたため医師に連絡。デイ内でお看取りをすることが決まった。
家族を呼び、職員と共に最後の瞬間をお見送りした。

CASE03

お正月だけ利用したい！

Cさん

81歳　要介護４→５
通常は本人のお気に入りのデイサービスを利用している。
在宅志向で、ショートステイなど
の利

Accident

二日に一度は入浴して
湯舟の中で体を温めて欲しいという
家族の要望があったが、
通常使うデイサービスは
年末年始が営業していない。
家のお風呂に入ることも難しい。

Problem

のこだわ
ない。
ず、入浴

「お正月だけの利用にも関わらず、皆さん親切にして貰えて嬉しい」と喜んで頂き、本利用に繋がりました。

利用頂く
ことになる。
お正月でも通常営業しているため、当園のお風呂でゆっくりと初風呂を味わっていただいた。
お正月には近所のお寺に初詣行くのが恒例行事で、
一年の無事を祈願頂く。
お正月のみの利用で三年通われましたが、その後に本利用となり、毎週通って頂いた。

デイサービスが365日営業すると・・・

ご利用者や家族の身に「何か」があったときに
緊急で入れるショートステイや入所施設を探さなければならないが、

即日で入所できるショートステイや入所施設を見つけることは困難な上に、
ご本人の心身の状態や経済的な事情、家族の関係なども絡んで
緊急入所できる施設が見つけられない場合もある。

緊急ショートや入所に代わる第三の選択肢として
いつも使っているデイサービスを頼ることができるということは

ある程度の安心感を与える材料になりうる。

何かが起こった際の「安心感」の提供。
これもまた介護事業に求められるサービスであるように思う。

03

その他のメリットと
今後の課題について

その他のメリット

利用者家族が土日祝日年末年始の就業や
曜日不固定の就業など多様な働き方ができる。

いまは家族も土日祝日に働く方が多く、デイの休業に合わせて、日曜日に休まないといけないという制約がなく、家族の仕事を選ぶ幅が広がる。

常時、生活相談員がいるので、利用日の調整
や介護について毎日相談ができる。

生活相談員が二名おり、毎日どちらかが出勤しているので、いつご連絡頂いても相談に乗る事ができます。ケアマネさんがお休みの日でも
お困りの時は緊急で利用することもできます。

資本（建物）の有効活用ができる。

日曜日にスペースが空いているのは経営的に
MOTTAINAI！
建物を毎日活用してマネタイズします。

365日体制のシフトを組むために職員数は通常の
倍数が必要になるが、それが平時の介護の手厚
さに繋がり、利用者満足度を高めている。

単純計算では七曜日営業は職員が
1.4倍必要ですが、実際には倍ほどの
職員が必要になります。
職員が多い事業所として、
喜ばれております。

最後に

課題

Our Bussiness

在宅における介護者もライフスタイルが多様化している。
家族に無理をさせない「利用しやすい介護サービス」の姿を考えると、小規模多機能型居宅介護事業所が行っているような「24時間365日営業」あるいは「利用予定が無くても気軽に立ち寄れる」介護サービスがデイサービスにも求められていることに気付かされる。

現状の居宅介護サービスは「利用には予約が必要」で「事業所の定める日時のみ利用」など事業者側の制約が多い。利用者や家族が事業者の都合に合わせているのが現状で、利用者が「求めているサービスを自由に享受」しているとは言い難い。

「あいてて良かった」とは往年のセブンイレブンのキャッチコピーであるが、介護事業所にも同様のCONVENIENCE（利便性）が求められているのではないか。

実際に介護事業所でコンビニエンスなサービスを作ろうとすることは難しいが、利用者の要望に耳を傾け、自由度が高く利用しやすいサービスを目指していきたい。

Café

Thanks !

ご清聴ありがとうございました！

羽鳥の森のデイサービスは
これからもご利用者様の
ためにより良いサービスを
行っていけるよう
頑張ります！

これからも
よろしくお見守り下さい。

研究テーマ
「デイサービス365日やって
みた！」

製作
珀寿会電脳室　&
羽鳥の森研究発表チーム